

## <領域：人間と社会>

### 人間の尊厳と自立

問題 1 Aさん(82歳, 女性, 要介護2)は, 夫を7年前に看取り, その後は一人暮らしをしている。夜中にトイレに行った時に転倒し, 大腿骨頸部<sup>みと</sup>を骨折(fracture)して3か月入院した。自宅に手すりをつけ, 段差をなくす住宅改修をした後, 退院した。何かにつかまれば, いすからの立ち上がりや歩行ができる。人と関わるのは苦手なため自宅での生活が中心である。遠方に一人息子が住んでおり, 月に1度は様子を見に帰ってくる。週3回, 訪問介護(ホームヘルプサービス)の買物代行や部屋の掃除などの生活援助を利用している。Aさんはできるだけ自分のことは自分で行い, このまま自宅での生活を継続したいと希望している。訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問したときに, Aさんは一人暮らしを続けることが不安であると告げた。

Aさんに対する訪問介護員(ホームヘルパー)の応答として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「訪問介護(ホームヘルプサービス)を毎日利用したらどうですか」
- 2 「一人暮らしは大変なので息子さんと同居したらどうですか」
- 3 「また転ぶかもしれないと思っているのですか」
- 4 「グループホームに入居することを考えたらどうですか」
- 5 「手すりをつけたし, 段差もなくなしたので転びませんよ」

問題 2 『夜と霧』や『死と愛』の著作があるフランクル(Frankl, V.)が提唱した  
価値の説明として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 公民権運動により差別を解消すること。
- 2 生命が制限される状況において、いかなる態度をとるかということ。
- 3 最低生活水準を保障すること。
- 4 ライフサイクル(life cycle)を通じたノーマルな発達の経験をすること。
- 5 アパルトヘイト(人種隔離政策)を撤廃すること。